

事業番号

2023 - 文科 - 22 - 0137

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)					
事業名	国立大学法人等施設事務経費		担当部局	大臣官房文教施設企画・防災部	作成責任者		
事業開始年度	平成16年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	計画課 計画課長 瀬戸 信太郎		
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	<small>経済財政運営と改革の基本方針2022(令和4年6月7日閣議決定) 新しい資本主義 フォローアップ(令和4年6月7日閣議決定) 第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定) 統合イノベーション戦略2022(令和4年6月3日閣議決定) 第3期教育振興基本計画(平成30年6月15日閣議決定) 国土強靱化基本計画(平成30年12月14日閣議決定) 防災・減災、国土強靱化のための5か年追加対策(令和2年12月11日閣議決定) 第5次国立大学法人等施設整備5か年計画(令和3年3月31日文部科学大臣決定)</small>			
政策	4 個性が輝く高等教育の振興		主要経費	教育振興助成費			
施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-17.pdf						
事業の目的(5行程度以内)	国立大学法人、大学共同利用機関法人及び独立行政法人国立高等専門学校機構(以下、「国立大学法人等」という。)の施設について、中長期的な整備方針を策定し、計画的・重点的な整備を進める。 国立大学法人等が「共創」の拠点としての役割を果たすためには、キャンパス全体を「イノベーション・commons」へと転換していくことが必要である。 以下の①②③を基本的な考え方として、施設整備を推進する。 ①長寿命化ライフサイクルへの転換 ②機能強化等への対応 ③カーボンニュートラルに向けた取組 ※イノベーション・commons:教育、研究、産学連携、地域連携など様々な分野・場面において、学生、研究者、産業界、自治体など様々なプレーヤーが対面やオンラインを通じ自由に集い、交流し、共創することで、新たな価値を創造できるキャンパスのこと。						
現状・課題(5行程度以内)	昭和40～50年代に大量に整備された施設が、一斉に老朽改善のタイミングを迎えている中で、これまで改善整備を行った面積に比べ新たに改善整備が必要となる面積が増加したことにより、結果的に老朽施設が十分に改善されていない。 また、学修者本位の教育への転換や世界をリードする最先端研究の推進など、本来的な役割である教育研究機能の強化とともに、それによる地域・社会・世界への貢献が求められる。そのためには、知と人材の集積拠点としての特性を最大限に発揮し、市民・行政・教育研究機関・企業・金融機関・NPO等社会の様々なステークホルダーとの連携により創造活動を展開する「共創」の拠点となることが期待されている。さらに、カーボンニュートラルの実現に向け、社会の先導モデルとなる徹底した省エネルギー対策等を図った国立大学法人等の施設整備を推進する必要がある。						
事業概要(5行程度以内)	<ul style="list-style-type: none"> 国立大学法人等施設の整備に要する補助金等の予算案の準備及び補助金の交付に係る事務。 国立大学法人等施設整備に係る事業の選定にあたり、透明性・客観性を確保する観点から、外部有識者により「国立大学法人等施設整備に関する検討会」を開催。 国立大学法人等施設の整備に要する補助金の適正な執行を図るため、交付先の国立大学法人等において現地調査を実施。 国立大学法人等の中長期的な施設整備方針の策定に向けて、有識者会議・協力者会議を実施。 国立大学法人等施設の中長期的な整備方針の策定等に関する委託事業の実施。 国立大学法人等の施設マネジメントの推進 						
事業概要URL	-						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	定額						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
	予算の状況	当初予算(A)	35	27.5	27.1	34.7	39.9
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	35	27.5	27.1	34.7	39.9
		執行額(G)	9.7	16.3	22.1	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	28%	59%	82%	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	28%	59%	82%	-	-
	歳出予算項目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
(項)	高等教育振興費	-	-				
(目)	大学改革推進委託費	18	23	-			
(目)	庁費	8	8	-			
(目)	職員旅費	4	4	-			
(目)	諸謝金	2	2	-			
(目)	委員等旅費	2	2	-			
(目)	その他	0	-	-			
	計(A)	34.7	39.9	-			

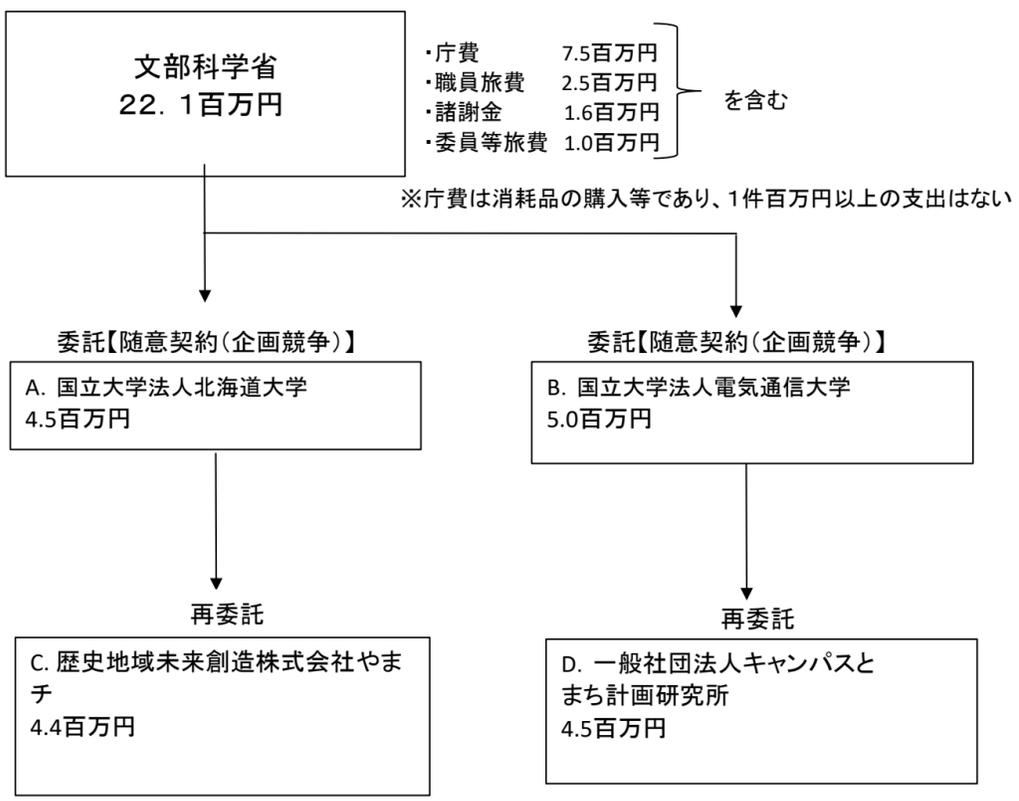
活動内容① (アクティビティ)	国立大学法人等施設整備に関して、計画的・重点的な施設整備を進めるため、整備方針の策定や事業選定を行う外部有識者会議を開催する。								
↓									
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	外部有識者会議の開催	外部有識者会議の開催回数	活動実績	回	11	13	16		
			当初見込み	回	22	19	19	18	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	外部有識者の意見を踏まえ策定した方針に基づき、施設整備を進めることにより、①安全・安心の確保②機能強化等への対応③カーボンニュートラルに向けた取組を推進することとなるため、方針を踏まえた事業採択数を短期アウトカムとする。							
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度	
	施設整備における、①安全・安心の確保②機能強化等への対応③カーボンニュートラルに向けた取組の推進	事業採択数 ※成果実績は令和2年度からの累計数	成果実績	件	708	1,126	1,492		
			目標値	件	-	-	-	-	
達成度	%	-	-	-	-				
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに關 する成果実績	国立大学法人等施設整備関係予算								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	計画的・重点的な施設整備を進めていくことにより、十分な機能を持った、質の高い、安全な教育研究環境の確保が実現可能となるため、老朽化に起因した施設上の事故発生件数の減少を長期アウトカムとする。							
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度	
	老朽改善	老朽化に起因した施設上の事故発生件数の年度比較 (基準年から5%減) ※事故:外壁・天井材の落下や雨漏りの発生等 ※基準年:令和2年度	成果実績	%	-	99	98	-	
			目標値	%	-	99	98	95	
達成度	%	-	100	100	-				
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに關 する成果実績	国立大学法人等施設整備実態報告書等								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容② (アクティビティ)	令和3～7年度を計画期間とする「第5次国立大学法人等施設整備5か年計画」(令和3年3月31日文科科学大臣決定)に基づき、国立大学法人等(大学共同利用機関法人、独立行政法人国立高等専門学校機構を含む)が行う共創拠点の形成に資する企画段階(「キャンパスマスタープラン」、「基本構想・基本計画」等の策定段階)の具体的検討を国立大学法人等に委託し、実施する。									
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)	活動目標	活動指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	共創の場の形成に向けた取組の支援	委託事業の実施件数	活動実績	件	-	1	2	-	-	
			当初見込み	件	-	1	1	1	-	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)									
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度		
	共創の場の形成	施設整備をきっかけに共創プロジェクトを開始した・拡大した大学等の数(令和3～7年度)	成果実績	大学等	-	36	-	-		
			目標値	大学等	-	-	-	54		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	文部科学省調べ									
アウトカム設定についての説明	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
	-									
	アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									
	共創の場の形成の検討を支援し、その成果を横展開することにより、全国の国立大学等において、共創の場の形成を実現していくことを目指しており、アウトカムの段階的な設定がなじまないため。									

活動内容③ (アクティビティ)		文部科学省において、国立大学法人等の収益を伴う施設の整備事業における公共施設等運営事業の導入の検討を支援する委託事業(国立大学法人等施設におけるPFI・コンセッション推進事業)の実施や、その成果を全国の国立大学法人等に横展開することで、各国立大学法人等における公共施設等運営事業を含むPPP/PFI事業による施設整備を推進する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		公共施設等運営事業の導入を検討する国立大学法人等への支援	委託事業の採択件数	活動実績	件	-	-	-	2	-	
				当初見込み	件	-	-	-	1	1	
↓		委託事業の実施や、その成果を全国の国立大学法人等に横展開を図り、公共施設等運営事業により施設整備や管理を行う国立大学法人等の増加を目指す。									
成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)											
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 8 年度		
		公共施設等運営事業により施設整備や管理を行う国立大学法人等の増加	国立大学法人等において、公共施設等運営事業を具体化する事業件数	成果実績	件	-	-	-	-		
				目標値	件	-	-	-	5		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省調べ									
↓		新しい資本主義の中核となる新たな官民連携の柱としてPPP/PFIの推進が求められていることから、委託事業の実施やその成果を全国の国立大学法人等への横展開を図り、公共施設等運営事業を含む多様なPPP/PFI手法により、施設整備や管理を行うことを検討する国立大学法人等の増加を目指す。									
成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)											
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 13 年度		
		公共施設等運営事業を含む多様なPPP/PFI手法により施設整備や管理を行うことを検討する国立大学法人等の増加	国立大学法人等において、公共施設等運営事業を含む多様なPPP/PFI事業の具体化を狙う事業件数	成果実績	件	-	-	-	-		
				目標値	件	-	-	-	30		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省調べ									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等		名称	-								
		URL	-								
		該当箇所	-								

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

(国立大学法人等におけるイノベーション・commons(共創拠点)の先導的事例の創出支援事業)



A.			B.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
再委託費	歴史地域未来創造創造株式会社やま	4.4	再委託費	一般社団法人キャンパスとまち計画研究所	4.5
旅費	現地施設調査	0.1	諸謝金	指導助言・講演	0.3
一般管理費	旅費の10%に相当する額	0	雑役務費	印刷製本	0.2
消費税相当額	旅費の消費税相当額	0			
計		4.5	計		5
C.			D.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	会議の運営・計画検討支援	2.5	人件費	会議の運営・計画検討支援	1.9
一般管理費	当該業務担当部署以外の経費	1	諸経費	印刷製本・旅費等	2.1
その他経費	直接経費(旅費等)とその他の原価(当該業務担当部署の経費)	1	技術料等経費	建築計画等の業務に付随する技術料等	0.6
計		4.4	計		4.5

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人 北海道大学	6430005004014	イノベーション・commonsの先導的事例の創出支援事業	4.5	随意契約(企画競争)	4	100%	-

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人 電気通信大学	5012405001286	イノベーション・commonsの先導的事例の創出支援事業	5	随意契約(企画競争)	4	100%	-

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	歴史地域未来創造株式会社 やまチ	4430001084821	イノベーション・commons基本 計画策定業務	4		-	-	-

D.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般社団法人キャンパスとまち 計画研究所	3010005033628	専門的見地からの指導等	4.5		-	-	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	